

とらやまの森

<http://www.tsushima-yamaneko.jp/>

2008 秋号
NO.42

よろしく!

3代目

公開ヤマネコの愛称が決まりました!
「我が輩の名前は福馬(ふくま)！」

公開ヤマネコの愛称決定

命名者を表彰!



二〇〇八年六月十日から八月三十一日までに当センターを訪れた方々から募集をしていました三代目公開ヤマネコの愛称が決定しました。名前は「福馬(ふくま)」。


「福岡市動物園で生まれ、対馬で育った」ことが名前の由来です。応募総数六一二件の中からセンター職員が厳正に選考し、決定しました。「福馬」と名付けてくれた人は三名、そのうち対馬在住の小島拓弥さんを当センターに招き、九月二十八日(日)に感謝状及び粗品の贈呈式を行いました。小島さんは福馬に対して「元気で頑張ってほしい」と励ましの言葉をくださいました。その他にも、たくさんの方々が素晴らしい名前を考えてくださいました。この場を借りて、お礼申し上げます。新しい名前が付いた今、福馬は毎日元気に過ごしています。若く、やんちゃなところも時折見せてくれる立派な三代目の福馬にぜひ会いに来て下さい。



福馬の名付け親の一人である小島さん。

やまねこ News

**佐護で保護された
ヤマネコ死亡する。**



九月二十三日、秋分の日午後四時頃、地域の住民の方から田んぼにヤマネコがうずくまっているから助けて欲しいとの連絡がありました。急いで駆けつけたところ、確かにじっとして動きません。本来、人前に出てくることが無いヤマネコが白昼堂々、大勢のギャラリーの前で逃げない所を見ると余程のことだな...と思いました。

捕獲用のタモ網をもって保護に向かいましたが、5m程まで距離を詰めたところでヤマネコは走って逃げ出しました。田んぼに足をとられながらも何とか保護し、急いでセンターに搬入しました。しかし、着いたときにはもう息を已经没有でした。

死亡したヤマネコは体重二八八〇gの年老いた雄で解剖の結果、死因は『肺を患い膿が气道をふさいだため』ではないかと診断されました。かなりの老齢なヤマネコで大往生だったと思います。これまでにたくさんの子孫を残し、この年になるまで頑張って生きてきたヤマネコだっただけに残念な気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです。お疲れさま！



☆☆**チカチカ光っています！
ヤマネコ飛び出し注意！**☆☆

対馬島内には、『ヤマネコ飛び出し注意』『事故多発』などと書かれた警戒標識が四十六基あります。それらの標識は、過去にツシマヤマネコの交通事故が起きたり、今後、交通事故が起きそうなところに設置されています。しかし、時間の経過とともにドライバーのみなさんにとっては見慣れた存在となってしまう、特に注意して運転するという方は少ないのではないのでしょうか。

そこで、みなさんの安全運転の意識を高めるべく、警戒標識にチカチカ光る点滅灯を取り付けました。点滅灯は特に交通事故が起きる危険性の高い箇所三十一基に取り付けました。

交通事故は、ドライバー側の要因、ヤマネコの生態的な要因、道路の構造や周囲の環境的な要因が複雑に絡み合っ発生します。ドライバーが注意することとで、多くの事故を回避できると考えています。点滅灯があるところは注意をして運転しましょう！

こんな時にも注意
夕方・明け方
秋から冬の時期



職員日誌③ 『師走にご注意...』

1年で最もあたたかい師走の時期となりました。あれもしなければこれもしなければと思中途半端な事はかりです。
ところで、秋から冬にかけてヤマネコの親離れの時期にもあたり、この時期はヤマネコの交通事故が大変多くなります。
年の瀬であたたかい時期ですが、ヤマネコにもやさしい運転をして下さいね。
尚、公開中の福馬くんも元気に動いています。特に午前中は、観察室の窓の近くまで来て、いろいろなポーズをとってくれています。
皆さん、カメラを片手にセンターにあそびに来て福馬くんのベストショットを撮りましょう。
ちなみに、私がとった福馬くんのベストショットはこちらの2枚です。

解説員がとったヤマネコベスト2



展示解説員：田代
(出身地：対馬市)



やまねこセンターにぜひ、来て下さい!

当センターが誇るスーパー解説員。地元の間人ならではの解説で大人気!

No.41のヤマネコ・クイズ!の回答

●現在のツシマヤマネコの生息数は? (A.80~110頭)



対馬の環 News



稲も人も生物も田んぼで
すくすく育ちます!



稲刈り作業後の集合写真(佐護)



大きな稲束を抱える参加者(田ノ浜)

◆田ノ浜地区・佐護地区
田んぼの学校収穫祭♪

今春から上県町田ノ浜地区と佐護小中学校で実施している田んぼの学校で稲の収穫体験が開催されました。十月十九日、田ノ浜地区の田んぼの学校では、お米の色が違う五種類の稲穂が見事に実り、約六十人の参加者が地元の方と一緒に鎌を使って稲を刈り取り、束ね、稲束を稲架に干しました。参加者の中には自分の背丈くらいある大きくて長い稲束を一生懸命運ぶ子供の姿もありました!

十月二十日には、佐護小中学校による稲刈り、稲架干し体験を実施しました。中学生は下級生にやさしく作業のやり方を教えていました。子供達は田んぼの学校を通して「お米を作る」楽しさと大変さを学んでくれたのではないかと思います。今年のお米は豊作。今回の田んぼの学校に関わったすべての人が対馬の恵みに感謝し、今年のお米のようにすくすく育ってくれたらと願っています。

「とらばさみ回収キャンペーン」
全島に拡大します!

八月から九月まで、「とらばさみを買わない・持たない・使わない」ことを推進するため、環境省・長崎県・対馬市では「どぶつたちの命を守ろう!とらばさみ回収キャンペーン」を実施しました。対馬市上県町の十四地区で試験的に実施し、とらばさみ十八個を回収。また、とらばさみ販売店に販売の自粛を依頼し、対馬での販売店はゼロとなりました。ご協力ありがとうございました。

これらの成果を受け、キャンペーンを二〇〇九年三月末まで延長し、回収の対象も対馬全域に拡大します。回収にご協力いただけただけの方には、とらばさみ一個につき五百円の協力金をお支払い致します。この機会に是非回収にご協力ください。壊れていたり、使用されていないとらばさみも対象です。

冬は、動物による鶏被害が多発する時期です。鶏が動物に襲われた場合、また被害が続いてお困りの場合は当センターにご連絡ください。



回収した「とらばさみ」

【問い合わせ先】
八四―五五七七(担当:前田)



A・レンジャー
前田がゆく

オ3回

対馬の守人 平山美登さん

-[佐護区区长]-

「美しい草原を取り戻したい、野焼きを試みたい、ブリを豊漁にしたい*、希少な植物やヤマネコを守りたい。それぞれの動機は何でもいい。とにかく、みなと一緒に楽しみながら草原再生に取り組み、結果として千俵蒔山の美しい草原を次の世代に残せれば」。

千俵蒔山は、対馬では珍しい全山草原性の山。しかし、農業の機械化や農業離れによって農耕用の牛や馬を飼う必要がなくなり、約40年前に野焼きや草刈りが行われなくなってしまった。人の働きかけがなくなると、草原の森林化は早く、1947年に約100haあった草原は、今では山頂部に約7haを残すのみ。

そういう変化を見過ごせるはずがない。佐護区長の平山美登さんは、そういう思いを持つ区民を束ねて「千俵蒔山草原再生プロジェクト」を立ち上げた。その温厚な人柄で、区民の人望は厚く、野焼きや雑木伐採作業には多くの区民が駆けつける。

作業中、汗をかきながら「俺たちはスゲーことしよるとやな」と一言。佐護区は、千俵蒔山以外にも、あじさいロードや野鳥、ヤマネコなど数多くの資源に恵まれているが、「他の地域や島では、こんな活動はできない」と平山区長は活動できることの喜びを実感している。



(佐護友谷在住、53歳)

用語補足

*ブリの豊漁と野焼きの関係...昔から「黒山にはブリがたがる」といって野焼き後の千俵蒔山は豊漁の象徴であった。

センター News



イベント報告&情報

-イベント-
どんぐりハイキング!



常連さんのまおちゃんよ
拾ったどんぐりの名前を調べたよ!

-総合学習-
比田勝小学校



玄関前で記念撮影
センターの玄関でハイチーズ♪

『ほんとにあった
ツシマヤマネコ物語』
つしま図書館で読み聞かせします!

1月17日(土) 14:00~
会場: 対馬市交流センター4F
参加費: 無料

『つしま図書館定例お話し会』

☆絵本の読み聞かせ、☆紙芝居
☆エプロンシアター、☆マジックショー

毎回楽しく、大好評の内容が
盛りだくさんです!

今回はこの中に『ツシマヤマネ
コ物語』も参加します!

皆さん、是非来てください♪

2008年9~11月までのセンター利用学校

☆加志々中学校 ☆仁田小学校 ☆比田勝小学校
☆佐護小中学校 ☆豊玉小学校(PTA) ☆内院小学校(PTA)

舟志の森 - やまねこ音楽祭開催♪

11月15日(土)に上対馬町舟志の旧舟志小学校で「舟志の森やまねこ音楽祭」が開催されました。この音楽祭は、ツシマヤマネコをはじめとする対馬の生きものたちとの共生可能な森づくりに取り組む舟志区を応援するために開催されました。

舟志区の太鼓チーム「対馬愛鼓連」の勇壮な和太鼓で幕を開け、佐世保のジャズ愛好家による「佐世保猫かぶりジャズアンサンブル」や佐世保で活躍する「脇本志津子」さんによるジャズの演奏、「対馬市民吹奏楽団」の吹奏楽や対馬出身メンバー率いる「Hi-CLASS」のロックなど多彩な内容を180名の観客が楽しみました。



舟志区「対馬愛鼓連」



対馬出身者バンド「Hi-CLASS」

ヤマネコへの手紙表彰者対馬に来る♪

11月1日(土)、東京の井の頭自然文化園が募集した『ヤマネコへの手紙』で対馬市長賞を受賞した関東の小学生3名が対馬野生生物保護センターを訪問してくれました。ヤマネコの生息地ならではの体験として、ヤマネコの痕跡ハイクと糞分析を実施しました。最初は、糞のにおいを嫌がっていた3人も最後はヤマネコが何を食べているのか夢中になって調べていました。ぜひ、また来て下さいね♪



着ぐるみ・つばきと一緒に記念撮影!

編集後記

42号が今年最後のとらやまの森となりました。2008年はとらやまの森をリニューアルした記念すべき年でした!みなさまに少しは愛される季刊誌になれたでしょうか?2009年もヤマネコともども、頑張っていく所存です。どうぞ、よろしくお願いします。



ツバキ

今日の一
ツワブキ

対馬の初冬の時期、黄色の花を咲かせるのが初冬の季語にもなっているツワブキです。若い葉柄はフキと同じように「*キヤラブキ」にして食べます。
*皮をはいたフキを醤油で甘辛く煮詰めたつくだ煮

とらやまの森

NO
42

2008

秋号



★「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。

休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は開館し、その翌日が休館日となります。*尚、12/29~1/31は休館です。